

東日本大震災に係る 本県の支援状況等について

- 1 義援金
- 2 人的支援
- 3 支援物資
- 4 本県への被災者の方々の受入れ
- 5 「くまモン募金」
- 6 「東日本大震災に係る経済情報連絡会議」の設置



東松島市支援チーム(第1陣)

熊本県は

宮城県東松島市を重点的に支援しています。



1 義 援 金

熊本県受付分の義援金

2 億 919万円 (4/4集計)

共同募金会

本県分 921万円 (3/31現在)
全国 180億8,368万円

日本赤十字社

本県分 2億7,600万円 (3/31現在)
全国 980億1,000万円



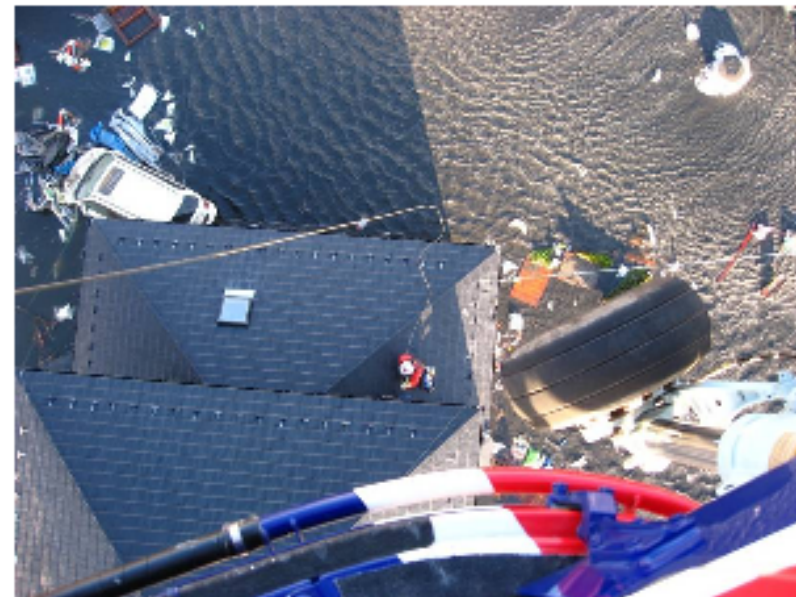
2-1 人的支援（県派遣分）

県防災消防ヘリ「ひばり」の派遣（宮城県石巻市）

3月12日～17日の間に、79名を救助・搬送



活動拠点は山形空港



救助活動の様子

2-2 人的支援(市町村職員を含む県チームとしての派遣)

保健医療チーム (宮城県南三陸町 3/19～)	10名派遣中 (3陣派遣)
情報収集・連絡調整 (宮城県庁 3/25～)	2名派遣中 (3陣派遣)
下水道調査チーム わたり (宮城県亘理町他 3/28～4/5)	4名派遣 (1陣派遣) 熊本市・八代市と合同
東松島市支援チーム (宮城県東松島市 4/1～)	14名派遣中 (2陣派遣) 熊本市と合同



※現在検討中 事務(罹災証明書発行・児童相談等)、農業(塩害対策等)、
土木(公共施設復旧等)

2-3 人的支援（防災・医療機関）

熊本県警特別派遣部隊

（宮城県石巻市、気仙沼市、福島県南相馬市）

192人、熊本県警ヘリ「おおあそ号」

日本赤十字社熊本県支部

（宮城県石巻市）

14陣派遣

活動終了

緊急消防援助隊

（宮城県仙台市）

29隊208人（2陣）

活動終了

熊本DMAT（災害派遣医療チーム）

（宮城県・茨城県）

4チーム（熊本医療センター、
済生会熊本病院、人吉総合病院）

陸上自衛隊西部方面通信群他

（宮城県内）

隊員500人超が活動中

※その他、県医師会（JMAT）、熊本
大学附属病院、済生会熊本病院、
熊本医療センター等の医療機関
が派遣

3ー1 支援物資

① 個人・グループ

第1次募集分(3/28～4/6) 受付数 11万7,676点
(4/5 現在)



- ・下着 4万4,389点 ・靴下 4万3,888点
- ・その他(上着・ズボン等) 2万9,399点

約 1万5,000点は、4/2(土)に
東松島市へ発送しました。

第2次募集は現地からの要請があるまで延期します。

3-2 支援物資

② 企業・自治体

26社・4団体・7市町村・県

食料品、日用品、水、毛布、簡易トイレ等

(10tトラック 11台分)



輸送に関しては、自衛隊・県トラック協会の協力を頂いています。

※ その他、JAなど民間独自の物資の支援も行われています。

4 本県への被災者の方々の受入れ

提供可能数 計 1,407戸・室 (4/5 現在)

(単位:戸・室)

県営住宅	54	←4世帯入居中
市町村営住宅	271	←10世帯入居中
県職員・教職員住宅	127	
国家公務員宿舎等	322	
旅館・ホテル	595	
企業等施設・アパート・自宅など	38	

5 「くまモン募金」

被災地の子どもたちを支援するために
「くまモン募金」を実施します。



募金活動を行う非営利団体を募集！

※報道資料参照

各団体が集めた募金は、
県でとりまとめのうえ被災県へお届けします。

6 「東日本大震災に係る経済情報連絡会議」の設置

○ 東日本大震災による県内経済への影響

例えば・・・

- ・建設業・製造業での資材・部品不足
- ・ホテル・旅館でのキャンセル

趣 旨

- ・影響についての的確な情報収集と共有化
- ・対応策等についての全庁的な検討

組 織

- ・全庁的に迅速な検討を行うため政策審議監等により構成



◆ 本県経済に与える影響の把握・整理を進め、具体的な対策につなげる。

【 お問い合わせ先 】

東日本大震災支援チーム

096－333－2811

【 くまモン募金に関すること 】

新幹線元年戦略推進室

096－333－2134

【 経済情報連絡会議に関すること 】

企画課

096－333－2019